

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	アクティビティセンターあいの			
○保護者評価実施期間	令和7年9月10日 ～ 令和7年9月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数)	20名
○従業者評価実施期間	令和7年9月10日 ～ 令和7年9月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて個別での対応を行っている ・成長段階やライフスタイルに応じて個別の対応を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・感情が不安定な時には個別の対応を行っている ・継続的に学校に通学出来ない児童には学校や保護者、関係期間と連携を図り支援を行っている ・成長に合わせた地域資源の活用や公共施設・地域の社会資源の活用を行っている ・職員間では支援後の振り返り、打合せでは情報の共有が出来ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の日々の変化をしっかりと見極める事が出来るよう、児童の心と体の成長についても研修会に参加し、研鑽に務める ・学校や家庭と連携をはかり、子どもや保護者の意見を尊重し支援を行う
2	<ul style="list-style-type: none"> ・就労継続支援B型「ワークセンターあいの」と多機能事業であり、職業体験ができ、卒業後の働くことへのイメージがわく 	<ul style="list-style-type: none"> ・箱折り、ラベル通し、野菜の袋入れなどを職業体験として行っている ・日々の活動の中で「仕事をする大人」の姿を見ることができ、働く事をイメージすることが出来る 	<ul style="list-style-type: none"> ・働く事の大変さや収入を得る事の喜びなど実体験から感じ、経験できる活動を取り入れる ・お金に関しての管理や適切な金銭感覚がもてるようにソーシャルスキルトレーニングを取り入れていく ・将来を見据え、成功体験を増やしていける支援を行う
3	<ul style="list-style-type: none"> ・自己選択や自己決定を促しながら、子ども達が主体的に活動に参加できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理実習では季節や場所（室内や室外かなど）によって自分達で献立を決めている ・レクリエーションでは内容やチーム分け、準備体操、進行なども子ども達が主体となり進めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別、小集団、集団での活動に対し、目的や目標を明確にし、職員はもちろん子ども達とも共有し活動に取り組む ・子ども達が主体的に取り組みながら、他児や周囲の大人との関わりを増やし、場の状況やお友達の気持ちを察する事が出来るような場面を作っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を有効活用したプログラムの提供が必要である ・活動スペースを有効に活用できていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムを継続して実施出来ていない ・下校時間が遅いため活動内容が限られてしまい、当日に活動を知らせていることが多い ・子ども達が中高生が多く、部屋が狭く感じてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が自ら考え安心して行動出来るように活動スペースに関しても視覚的に示していく ・多目的棟や相談室、バスケ広場等を活用し、事前にたてた計画をスムーズに実行出来るよう現在の打合せのやり方などを改善していく 活動内容にくわえ活動場所なども保護者へ発信していく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対する支援プログラムや研修会、保護者会などの交流の機会が少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回家族や地域を招待し運動会を行ったり、親子クッキングを計画して交流の機会を設けている ・毎月1回、通信を用い、行事や活動様子、今後の予定等を伝えている ・家族に対する研修会や保護者会は行っていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通し、保護者会などの計画を行う ・家族が参加出来る研修会や交流会も計画し、参加を促していく
3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で暮らす他の子どもとの交流がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の放課後等デイサービス事業所とは年に1回、運動会などで交流を行っている ・週末や長期休み時の外出は年間の計画に取り入れているが、地域資源を活用した活動や地域の子どもの活動は少なのが現状である 	<ul style="list-style-type: none"> ・他事業所との交流や連携、体験イベントやボランティアなどにも積極的に参加し、地域交流を増やしていく ・年間行事計画に地域での行事を取り入れていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス アクティビティセンターあいの

公表日 令和7年 11月 25日

利用児童数

29名

回収数 20名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	3	2	1	アクティ部屋の中に子ども達と職員がいる時は狭そうに感じた	アクティ部屋だけでなく、さまざまな場所（法人内・地域も含め）での活動を積極的に取り入れ、活動スペースを確保していく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1	1	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	1	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	0	0		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	1	0	0		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	15	1	1	3		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	3	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	2	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	2	2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	3	0	1		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	2	2	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	1	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14	3	1	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	4	0	0		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1	0	1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	1	0	3		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1	0	3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	1	0	1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	0	0	0		

ご意見・ご要望

- ・字が小さすぎて読み取りにくく、もう少し大きな字でお願いしたいです
- ・お食事やおやつが美味しくて、クッキングも多いので楽しみに通っています。夏休みの食事補助もありがたかったです
- ・ペアレントトレーニングの話や講座などがあったら参加したいです

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年 11月 25日				
放課後等デイサービス アクティビティセンターあいの						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	多目的室、相談室等活動に応じて使用している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		曜日によっては、送迎時が重なってしまい、受け入れや室内の支援を行う職員が時間的に少なくなる日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	B型事業所と同じ建物内にあることにより、作業体験や働く事を実際に目で見て学ぶ事が出来る	天候が悪い時に、玄関下に雨が入ってくることがある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	外での活動後は特に表情が晴れ晴れしている	長期休みの際には朝礼等の全員集まった時は部屋が狭く感じる 文具の収納場所を確保したい
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		部屋を使用するさいは、B型事業所とも共有している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	個別活動では部屋が確保されており、落ち着いた活動が出来ている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		朝の打合せや、昼礼での報告を行い、共有している 打合せに参加出来ない時は、記録等で確認している	全体の打合せに出れない時がある
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	7			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節に応じた活動を取り入れるようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		専門職による個別活動が定着している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	放課後に振り返りが出来ないときは、翌日に実施している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		活動記録を効率よく行うための取り組みを改善活動として行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	6	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	月に1回、絵本の読み聞かせに参加しており、その際に他の学童さんと場の共有を行っている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4	フェスティバル・運動会・親子クッキングなど家族が参加出来る行事がある	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	2	親子クッキングを開催し、保護者との交流する機会を設けている	保護者会やきょうだい同士の交流会は機会を設けていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		アクティ通信やライン等を活用し情報発信・受診を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		SNSの発信の際には個人情報に注意している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		連絡帳やスマホを情報伝達に活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		火災や地震等の避難訓練は実施出来ている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		給食マグネットにはアレルギーの種類を記入した名札を使用している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	4		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	3		